

文法名

助動詞のような働きをする言葉 -be able to-

記入日



音読

1	2	3	4
5	6	7	8
9	10	11	12
13	14	15	

構造

be able to + 動詞(の原形)

意味

~することができる

否定文のルール

be動詞の否定文のルールと同じ

be動詞のうしろにnotをつける

疑問文のルール

be動詞の疑問文のルールと同じ

be動詞を主語の前にもっていく

説明

動詞に「~することができる」の意味を加えるには、
「be able to」を助動詞のように動詞の前に加え、動詞は原形にします

注意

- ※ の部分はすべて覚える
- 元の文法が加えられていない文を書いてもらう
- 文法を加えた文を書いて、チェックをされる
- 否定・疑問・答えをルールにのっとり、作文する
- 解説の枠は青太字で書く
- 覚えるための音読を繰り返しチェックすること
- 日⇄英 に耐えられるようにしっかり覚える

元

主語が三人称単数、一般動詞+現在、で三単現のsがある

英語

He reads difficult English books.

日本語

彼は、難しい英語の本を読みます

解説

動詞の前に「be able to」を加え、うしろの元の動詞は原形にする

英語

He is able to read difficult English books.

解説

beは主語・時制による

日本語

彼は難しい英語の本を読むことができます

解説

動詞に「~することができる」の意味が加わる

否

be動詞のうしろにnotをつける、否定文にする

英語

He is not able to read difficult English books.

日本語

彼は難しい英語の本を読むできません

疑

be動詞を主語の前にもっていく、疑問文にする

英語

Is he able to read difficult English books?

日本語

彼は難しい英語の本を読むことができますか？

答

isできたから、isで答える

英語

Yes, he is.

日本語

はい、(彼は) できます

isできたから isで答える

No, he isn't.

いいえ、(彼は) できません